

まちかど ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。広報広聴課 ☎51-0123 内線2822へお便りください。

市長への手紙から

ロゼシアターの親子室を改善して

舞台鑑賞を趣味にしている島田さんは、よく親子でロゼシアターへ出かけます。そこでロゼシアターの親子室をのんびりくつろげる空間にしてほしいとお便りをいただきました。

〈市長への手紙から〉

何度かロゼシアターを利用させてもらっていて、ふと疑問に思ったのですが、親子室は現在、駅のベンチに使われているような、いすを使っていますよね。

率直に言わせてもらえば、少し床を高くして畳かじゅうたんにしたらいかがでしょうか。

それというのも、現在のものは「子連れで催し物を楽しむ」ことが、とても難しいからです。子供が舞台鑑賞に疲れたら寝転がれるように、いすを撤去すれば、親ものんびり鑑賞できると思うのですが……。



島田浩美さんと美沙ちゃん（神戸）

〈市長の答え〉

ロゼシアターでは、親子で心置きなく舞台鑑賞を楽しめるよう、大・中・小ホールにそれぞれ親子室を設けています。

親子室の利用により、小さな子供が他の観客に迷惑をかける心配をすることなく舞台を鑑賞できる、ということが設置目的の一つでもあります。しかし、子供自身が舞台鑑賞する上で、親子同伴のもと、親が子供に鑑賞マナーを教える場としても親子室をご利用いただきたいと考えています。

そのため親子室は、いすに座って鑑賞する形式を採用しています。もし、子供が鑑賞に疲れてしまった場合は、託児室をご利用ください。原則として二歳以上の未就学児童が対象で、予約が必要ですが、ロゼシアターの自主事業によるすべての催し物のほか、一般開催による一部の催し物でも託児室を設けています。ぜひ有効に活用してください。

「食べる・飲む・見る」

歩く健康づくり一萬歩②

岩松「治水の歴史コース」

年末年始は、とかく運動不足になりがちです。歩くことは、健康維持に効果的。「歩く健康づくり一萬歩」コースを活用して運動不足を解消しましょう。

今回は、岩松の「治水の歴史コース」(健脚・一般)のうち

まず、スタート地点の岩松公民館を出発します。その後、昔富士川の洪水を防ぐため、古郡親子三代にわたってつくられた、かりがね堤へ。十月には、堤を囲むようにしてコスモスが咲き誇り、その美しさと富士山とのコントラストは、しばし歩を休ませてくれます。



かりがね堤から上堀沿いを通り、柚木神社へ寄った後は、うっすらと雪化粧をした富士山を眺めながら、のんびりと北に進みます。

瑞林寺や古郡氏の墓所を訪れると、岩松地区の歴史絵巻が頭をよぎり、先人の功績に思いをはせました。

少し北上し、左に曲がって一気に西へ。永光寺、永源寺、門の両脇に参拝者をにらみつけるように立っている「あ」「うん」の像で知られる実相寺。再びかりがね堤を歩いて終点の岩松公民館へ。

一周約六キロメートル。ほんのり汗ばみ、心も体もリフレッシュできるコースです。

▽岩本山から望むかりがね堤

